

令和6年度 公共事業再評価調書

(区分) **国補** 県単

1. 事業説明シート

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]			事業箇所	大月市七保町瀬戸上和田	地区名	国道139号 (上和田バイパス)	事業主体	山梨県																	
計画期間	当初計画	現計画	変更計画	④特記事項 (関連事業概要等) なし																						
	H20年度~H29年度	H20年度~R7年度	H20年度~R10年度																							
総事業費	2,450 百万円	4,234 百万円	5,714 百万円	⑤これまでの評価状況 (令和3年度再評価) (令和3年度再評価) 本事業により、災害に強い道路の確保や市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセスの向上が期待されることからその実施の意義はきわめて大きい。今回、事業実施の遅延要因であった用地取得も完了したことから見直し案により事業を継続することが妥当である。																						
(1) 事業の概要																										
①事業目的及び効果				(2) 事業位置図等																						
<p>一般国道139号は、静岡県富士市を起点とし、大月市や小菅村を経て東京都奥多摩町に至る幹線道路であり、沿線地域の生活や観光振興を支えるとともに、災害時には第二次緊急輸送道路としての役割も担う路線である。</p> <p>当該地区内は幅員狭小で道路線形も悪く、大型車のすれ違いが困難など交通の隘路となっており、落石や土砂崩落などが頻繁に発生しており、早急な道路整備が必要である。</p> <p>□主要目標 ○災害に強い道路の確保</p> <p>危険度 (落石等) : 要対策、要監視箇所あり 損傷度等 (落石等) : 通行止め実績 (過去3年間) 3回>2回以上※ 緊急輸送路の指定 : 指定有り (第二次緊急輸送路) 自動車交通量 906台/12h (R3センサス) < 3,340台/12h (平日) 以上※ ※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上</p> <p>□副次効果 ○アクセス機能の維持</p>																										
②事業概要																										
計画延長 L=1,507m 道路幅員 車道5.5m (2車線)																										
③全体計画				※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>令和5年度まで</th> <th>令和6年度 (評価実施年度)</th> <th>令和7年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現計画</td> <td>工事内容</td> <td>測量調査設計 用地補償 道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事</td> <td>道路改良工事</td> <td>舗装工事</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>4,099 百万円</td> <td>85 百万円</td> <td>50 百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">変更計画</td> <td>工事内容</td> <td>測量調査設計 用地補償 道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事</td> <td>道路改良工事 トンネル工事</td> <td>トンネル工事 橋梁工事 道路改良工事 舗装工事</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>3,776 百万円</td> <td>380 百万円</td> <td>1,558 百万円</td> </tr> </tbody> </table>												令和5年度まで	令和6年度 (評価実施年度)	令和7年度以降	現計画	工事内容	測量調査設計 用地補償 道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事	道路改良工事	舗装工事	事業費	4,099 百万円	85 百万円	50 百万円	変更計画	工事内容	測量調査設計 用地補償 道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事
		令和5年度まで	令和6年度 (評価実施年度)	令和7年度以降																						
現計画	工事内容	測量調査設計 用地補償 道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事	道路改良工事	舗装工事																						
	事業費	4,099 百万円	85 百万円	50 百万円																						
変更計画	工事内容	測量調査設計 用地補償 道路改良工事 橋梁工事 トンネル工事	道路改良工事 トンネル工事	トンネル工事 橋梁工事 道路改良工事 舗装工事																						
	事業費	3,776 百万円	380 百万円	1,558 百万円																						

2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

変更なし

②産業・経済情勢

変更なし

③国等の方針

変更なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・山梨県総合計画（令和5年10月改定）
- ・山梨県強靱化計画（令和6年3月改訂）
- ・山梨県社会資本整備重点計画（第四次）（令和4年9月改定）
- ・山梨県道路の整備に関するプログラム（令和6年3月改定）
- ・山梨県地域防災計画（第二次緊急輸送道路に指定）（令和6年3月改訂）

⑤自然環境条件等

変更なし

⑥その他

変更なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項 目		着手（Ⅰ期）		着手（Ⅱ期）		再々評価時点		変更計画時点	
総事業費		1,500	百万円	950	百万円	4,234	百万円	5,714	百万円
工 期		H20~H24		H25~H29		H20~R7		H20~R10	
評価基準年		H19		H25		R3		R6	
経済 効 率 性	費用	1,401	百万円	883	百万円	4,741	百万円	6,585	百万円
	建設費	1,295	百万円	832	百万円	4,553	百万円	6,397	百万円
	維持管理費	106	百万円	51	百万円	188	百万円	188	百万円
	その他()		百万円		百万円		百万円		百万円
	便益	2,257	百万円	934	百万円	5,643	百万円	8,060	百万円
	走行時間短縮	2,007	百万円	730	百万円	4,208	百万円	6,828	百万円
	走行費用減少	238	百万円	6	百万円	963	百万円	760	百万円
	交通事故減少	12	百万円	23	百万円	124	百万円	75	百万円
	その他※		百万円	175	百万円	348	百万円	397	百万円
	B/C		1.6		1.1		1.2		1.2

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、災害解消便益、救急救命率向上便益、観光客増加便益、休日交通便益

（3）これまでの計画変更等の概要

（平成28年度再評価）

地質調査結果により、補強土壁や橋梁下部工の軟弱地盤対策の見直し等を行い、総事業費及び計画期間を変更した。

- ・総事業費 24.5億円 → 32.5億円
- ・完成年度 平成29年度 → 令和4年度

（令和3年度再評価）

現場発生土の処分先の変更や用地交渉結果による道路構造の見直し等を行い、総事業費及び計画期間を変更した。

- ・総事業費 32.5億円 → 42.3億円
- ・完成年度 令和4年度 → 令和7年度

評価シート（2）

<p>（4）事業進捗状況及び見込み</p> <p>①進捗率 別表のとおり。 R6年度進捗率（現計画）98.8%→（実績）98.2%→（変更計画）72.7%</p> <p>②進捗率実績が計画と相違している理由 トンネル掘削を行ったところ、当初想定した地山よりも脆弱な区間が判明し、支保構造及び補助工法を変更したため。また、地質調査の結果、橋梁下部工の支持層となりうる地層が深いことが判明し、杭基礎を追加したため。さらに、法面对策工について地質調査の結果、断層破碎帯の存在が判明し、構造変更を行ったため。</p> <p>③総事業費の変更内容</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>変更工種等</th> <th>事業費増減</th> <th>変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル工（2号）</td> <td>900百万円 増</td> <td>トンネル掘削を行ったところ、想定よりも脆弱な区間が判明し、支保構造及び補助工法を変更したことによる増額</td> </tr> <tr> <td>橋梁工（1号）</td> <td>200百万円 増</td> <td>地質調査の結果、橋梁下部工の支持層となりうる地層が深いことが判明し、杭基礎を追加したことによる増額</td> </tr> <tr> <td>法面工（1・2号）</td> <td>380百万円 増</td> <td>地質調査の結果、脆弱な層（断層破碎帯）の存在が判明し、法面对策工の構造を変更したことによる増額</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,480 百万円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>④事業期間の変更理由及び進捗予定 計画期間内での完了に向けて事業進捗を図ったものの、想定地質の相違による構造・工法変更に伴い工事費が増大したことにより、工期を3年間延長し、令和10年の完成を予定している。</p> <p>⑤今後の事業執行における留意点 なし</p>	変更工種等	事業費増減	変更理由	トンネル工（2号）	900百万円 増	トンネル掘削を行ったところ、想定よりも脆弱な区間が判明し、支保構造及び補助工法を変更したことによる増額	橋梁工（1号）	200百万円 増	地質調査の結果、橋梁下部工の支持層となりうる地層が深いことが判明し、杭基礎を追加したことによる増額	法面工（1・2号）	380百万円 増	地質調査の結果、脆弱な層（断層破碎帯）の存在が判明し、法面对策工の構造を変更したことによる増額	合計	1,480 百万円		<p>（5）環境負荷等への配慮 なし</p> <p>（6）コスト縮減の可能性 なし</p> <p>（7）代替案立案の可能性 なし</p> <p>（8）所管部の今後の方針 継続 <input checked="" type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> その他 () (理由) 継続的に事業を実施し、整備効果を早期に発現させるため、変更計画に基づき令和10年度の完成を目指す。</p>
変更工種等	事業費増減	変更理由														
トンネル工（2号）	900百万円 増	トンネル掘削を行ったところ、想定よりも脆弱な区間が判明し、支保構造及び補助工法を変更したことによる増額														
橋梁工（1号）	200百万円 増	地質調査の結果、橋梁下部工の支持層となりうる地層が深いことが判明し、杭基礎を追加したことによる増額														
法面工（1・2号）	380百万円 増	地質調査の結果、脆弱な層（断層破碎帯）の存在が判明し、法面对策工の構造を変更したことによる増額														
合計	1,480 百万円															

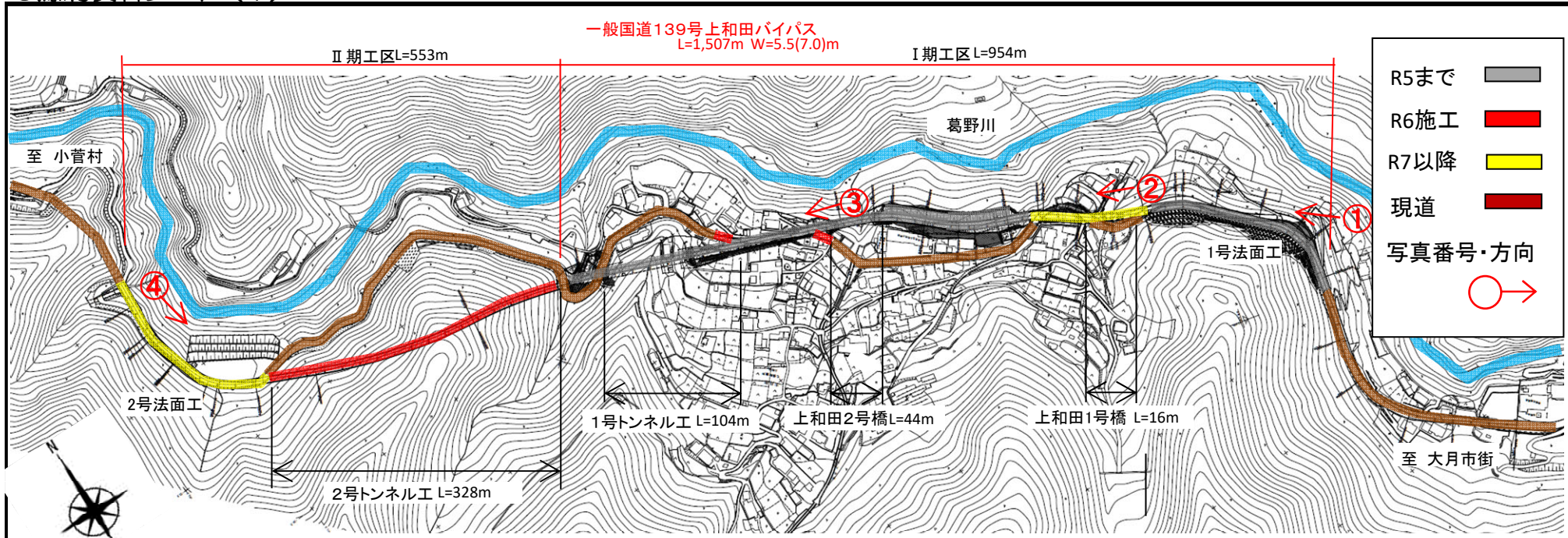
○別表-進捗率（事業費ベース）

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：%

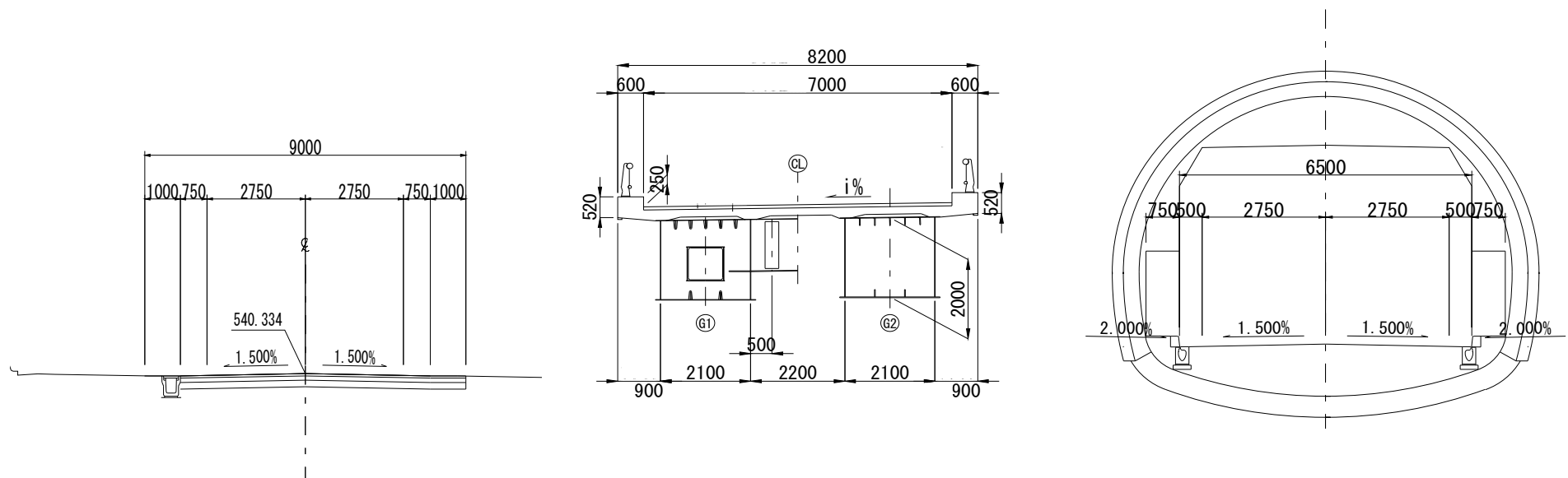
	年度	*H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	*R6	R7	R8	R9	R10
	現	計画	2.8	3.5	4.5	7.1	10.2	16.4	22.7	24.5	36.0	40.9	47.8	70.8	73.1	77.9	89.7	96.8	98.8	100		
実績		2.8	3.5	4.5	7.1	10.2	16.4	22.7	24.5	36.0	40.9	47.8	70.8	73.1	77.9	83	89	98.2				
変更計画																		72.7	81.5	90.3	98.6	100

*事業着手年度又は評価年度
*R6年度の実績は見込み

3. 添付資料シート (1)



標準横断面



3. 添付資料シート (2)

① 起点側 (法面工施工状況)



② 施工状況 (法面より1号トンネルを望む)



③ 上和田1号トンネル (上和田2号橋より終点側を望む)



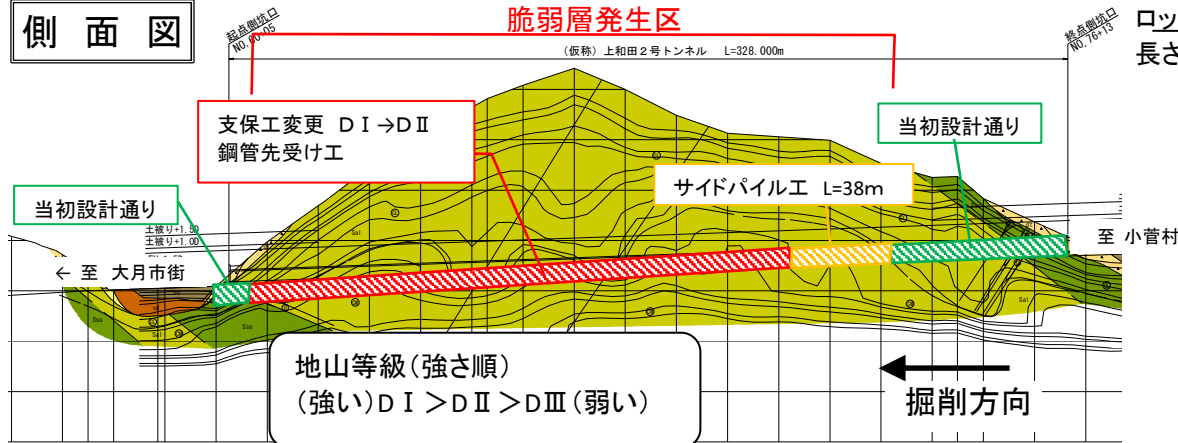
④ 終点側 (終点側より2号トンネルを望む)



3. 添付資料シート (3)

変更要素① トンネル支保構造及び補助工法の変更

側面図



地山等級(強さ順)
(強い) D I > D II > D III (弱い)

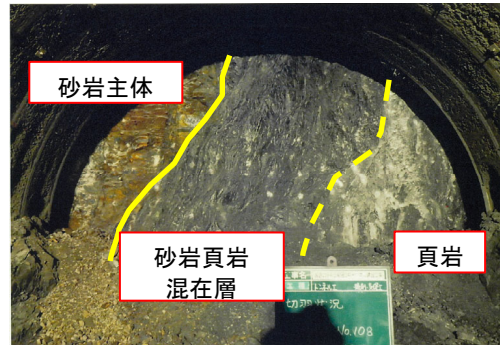
支保工補助	当初	地山等級			変更				
		D III	D I	D III	D III	D II	D I	D III	
		21.5	269.0	36.26	21.5	73.0	126.0	32.0	36.26
							サイドパイル工		
							38.0	32.0	

(脆弱層のない断面)



砂岩主体

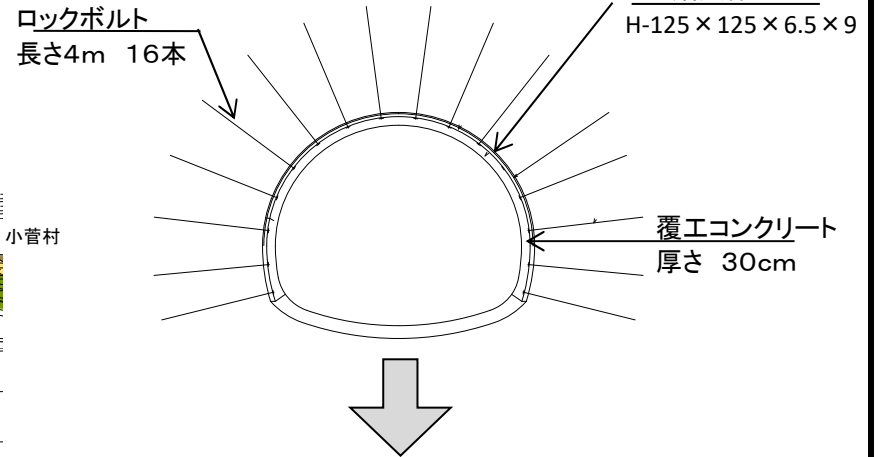
(脆弱層のある断面)



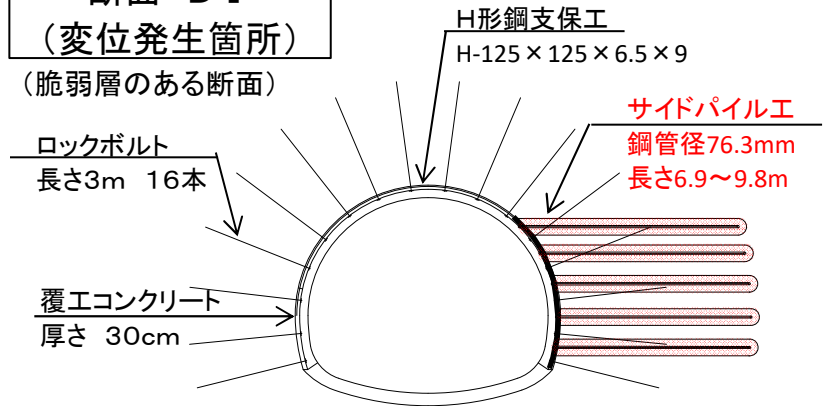
頁岩: 剥離しやすい性質をもつ

○トンネル掘削を行ったところ、想定よりも脆弱な区間が判明したため、支保構造及び補助工法を変更した。

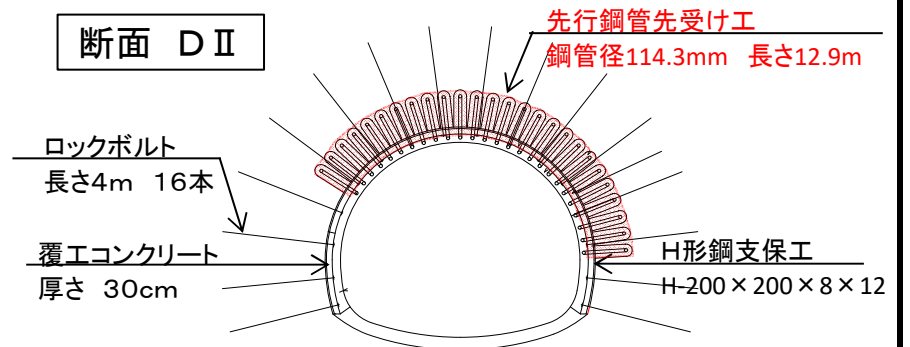
断面 D I



断面 D I
(変位発生箇所)
(脆弱層のある断面)

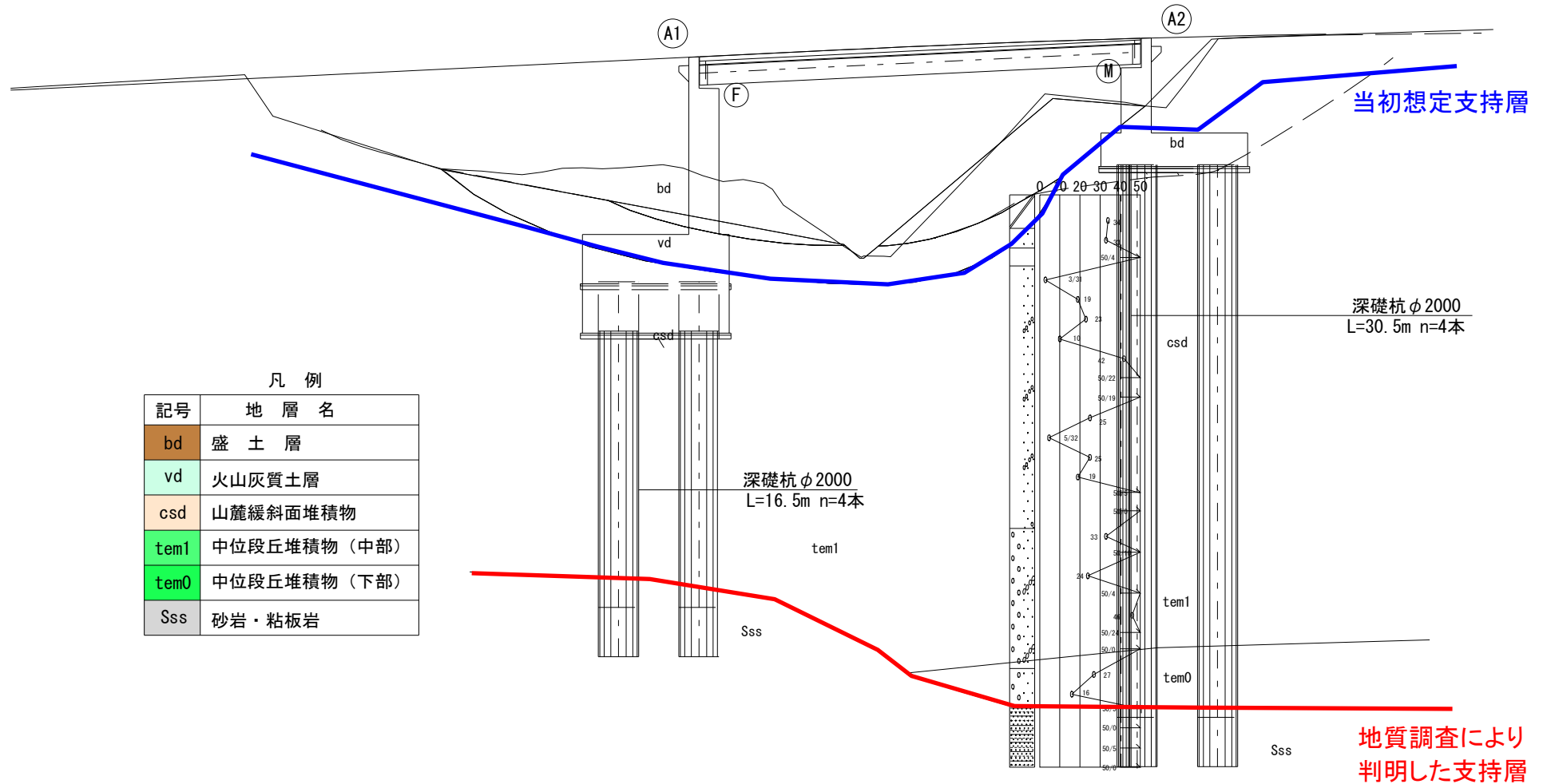


断面 D II



3. 添付資料シート (4)

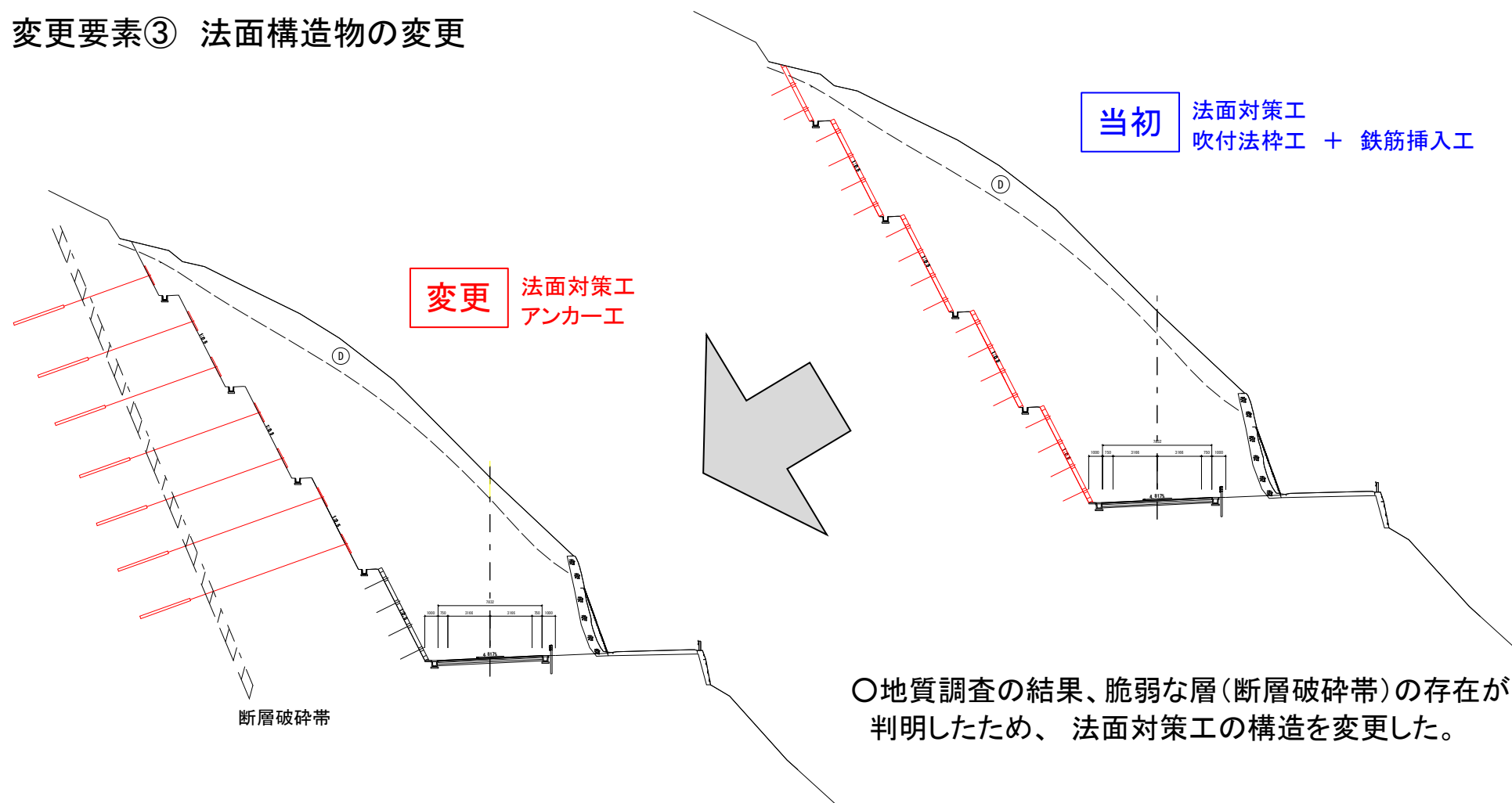
変更要素② 橋梁 杭基礎の追加



○地質調査の結果、橋梁下部工の支持層となりうる地層が深いことが判明したため、杭基礎を追加した。

3. 添付資料シート (5)

変更要素③ 法面構造物の変更



変更要素④ 事業期間の延長

○トンネル、橋梁及び法面对策の構造・工法変更に伴い工事進捗が遅れたことにより、事業期間を3年間延長する。

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H20	118,420	測量、調査、設計	1.9%
H21	27,920	用地取得・補償、設計	2.3%
H22	46,000	用地取得・補償	3.0%
H23	108,617	用地取得・補償、道路改良工	4.8%
H24	131,126	道路改良工、橋梁下部工(2号橋)	6.8%
H25	261,327	用地取得・補償、測量、調査、設計、橋梁下部工(2号橋)	11.0%
H26	266,270	用地取得・補償、測量、道路改良工、橋梁下部工(2号橋)	15.2%
H27	78,890	用地取得・補償、道路改良工	16.5%
H28	485,187	用地取得・補償、道路改良工	24.1%
H29	206,860	用地取得・補償、道路改良工	27.4%
H30	293,229	用地取得・補償、道路改良工	32.1%
R1	973,122	道路改良工、トンネル工(1号トンネル)、橋梁上部工(2号橋)	47.5%
R2	98,568	用地取得・補償、道路改良工	49.0%
R3	203,264	用地取得・補償、道路改良工	52.3%
R4	203,520	トンネル工(2号トンネル)、道路改良工	61.5%
R5	273,510	トンネル工(2号トンネル)、道路改良工	65.8%
R6	380,000	トンネル工(2号トンネル)、道路改良工	66.9%
R7	503,000	トンネル工(2号トンネル)、トンネル工(設備)、橋梁下部工(1号橋)、道路改良工	84.0%
R8	503,000	橋梁下部工(1号橋)、道路改良工	95.3%
R9	473,000	橋梁上部工(1号橋)、道路改良工	99.0%
R10	79,000	舗装工	100.0%
合計	5,713,830		